秋田県警察行政職員の採用試験・勤務待遇など

採用試験

秋田県警察行政職員の採用試験に合格された場合、原則として秋田県内での勤務となります。

大学卒業程度 → 学歴制限なし。ただし、受験する年度で満22歳以下の方は、大卒又は大卒見込みの方が対象

高校卒業程度 → 大卒、短大卒、高専卒又はこれらを卒業見込みの方以外が対象

スケジュール表

（多少日程が前後する場合があります。）

5月中旬ころ	警察行政職員（大学卒業程度）の受験申込み受付開始
6月下旬ころ	警察行政職員（大学卒業程度）の第1次試験
7月下旬ころ	警察行政職員（高校卒業程度）の受験申込み受付開始
7月～8月上旬ころ	警察行政職員（大学卒業程度）の第2次試験
8月下旬ころ	警察行政職員（大学卒業程度）の最終合格発表
9月下旬ころ	警察行政職員（高校卒業程度）の第1次試験
10月～11月上旬	警察行政職員（高校卒業程度）の第2次試験
11月中旬ころ	警察行政職員（高校卒業程度）の最終合格発表
翌年4月	警察行政職員として採用、秋田県警察学校へ入校

※　詳細は、採用試験受験案内を確認してください。

第1次試験

試験種目	問題形式	配点	方法・内容
教養試験	択一式	100点	社会・人文・自然・文章理解・判断推理・数的推理・資料解釈
専門試験（大卒のみ）	択一式	150点	政治学・行政学・憲法・行政法・民法・刑法・労働法・経済学・財政学・社会政策・国際関係
論文(作文)試験	記述式	50点	論文（作文）用紙1枚（800字以内）

第2次試験

試験種目	配点	方法・内容
個別面接	300点	受験者1名が入室、面接官の質問に答える形式
適性検査	―	職務遂行に必要な適性についての検査

給　与

初任給

大学卒業程度：18万1，928円
高校卒業程度：14万9，610円

給与想定1　（大学卒業程度　：　勤続5年）

主事、警務課、独身、アパート居住
基本給　約22万円、合計約34万円
　時間外勤務手当6万8千円、休日勤務手当1万5千円
　宿日直勤務手当7千円、住居手当2万7千円

給与想定2　（高校卒業程度　：　勤続10年）

主事、会計課勤務、妻あり、官舎居住
基本給　約22万円、合計約30万円
　時間外勤務手当5万5千円、休日勤務手当7千円
　宿日直勤務手当7千円、扶養手当1万円、通勤手当2千円

注意

上記給与想定額から、所得税、住民税、厚生年金掛金、互助会掛金、警察厚生控除金（保険）などが差し引かれます。

ボーナス

期末手当、勤勉手当＝通称「ボーナス」は、勤務年数等に応じた金額が毎年6月・12月の年2回支給されます。採用年のボーナスは、6月30日に10万円程度、12月10日に35万円程度が給料のほかに支給されます。（職歴・学歴によって若干の個人差あり）

その他

上記手当以外にも、様々な手当があります。また、年1回の昇給や自らの努力で昇任することにより、基本給を上げることが可能です。

制度など

保険について

警察職員が加入している保険は格安！！
警察行政職員（一般職員）は、全国約3万3千人います。
全員が加入しているわけではありませんが、ほとんどの職員が加入しており、保険運営は安定、これに伴って保険料は民間の保険会社よりも格安にすることが可能であり、保証内容も手厚くなっています。

融資について

警察では、職員に対する貸付制度もあります。
最大300万円まで融資可能で、給料天引きなので、延滞することはありませんし、気がついたら完済しているというのが魅力です。
また、民間の住宅ローンやマイカーローンなどでも、警察という職業の信用性から、審査が通りやすく、マイホームも夢ではありません。

警察官待機宿舎・共済宿舎

警察官待機宿舎・共済宿舎（いわゆる官舎）は、職員の福利厚生を目的としているため、格安な入居料で住むことができます。
通常、アパートを借りるとなると、敷金・礼金などで入居時に20万円ほどの資金を用意する必要がありますが、官舎は敷金・礼金・諸費用など一切不要です。
引っ越しは、転勤のある職業ならではのことですが、格安の入居料で住めるのは貯金のない若手職員にとってありがたいことです。
毎月の入居料については、単身（独身）用官舎で約1万円、家族用官舎で1万5千～2万円程度となっています。
※引っ越しに掛かる費用についても、人事異動に伴う旅費として数万円を負担してくれます。（異動する距離等によって金額が異なります。）

仕事内容

［主に次のような仕事に従事してもらいます。］

警務係

勤務管理

警察は、県民の安全・安心な暮らしを守るため、24時間365日奮闘しています。
職員の勤務時間を適正に管理するとともに、ワークライフバランスが保たれるよう、各課の勤務計画に基づき、各職員の週休日や勤務時間の割り振りを行います。

給与管理

各職員から報告を受けた時間外勤務や特殊勤務等の実績を勤務状況等と照らし合わせ、適正な手当が支給されるよう入念に確認作業を行います。
また、通勤に一定以上の距離がある（通勤手当）、家族を養っている（扶養手当）、職員が単身赴任している（単身赴任手当）など一定の要件を満たしている場合は、各手当を支給するための認定手続を行います。

福利厚生

職員が結婚したり、職員又は職員の配偶者が出産した場合は、祝い金などの給付があるほか、職員やその家族が文化施設や宿泊施設等を利用する場合は助成金が支給されます。これらの給付や助成を職員が受けられるよう、窓口となって手続を行います。

健康管理

警察では、全職員を対象とした年１回の健康診断のほか、交替制勤務など特殊な勤務を行っている職員を対象とした健康診断を行っています。各部署や職員の都合を調整して、全員が確実に受験できるよう手配します。
このほか、職員のストレスチェックを定期的に実施し、身体だけではなく心の状態も確認して、心身ともに元気に勤務ができるようにしています。

会計係

拾得物の取扱

警察には日々、様々な落とし物や拾い物の届出があります。受理した落とし物の情報や拾い物の確認を行い、落とし主への返還に努めます。

物品購入

警察活動は一般的な事務用品から鑑識・科学捜査研究所の鑑定用品まで幅広い物品を必要とします。購入の際は、会計法や県の財務規則など根拠となる法令等に基づき、適正な手続によって行います。

庁舎管理

警察には、警察署や交番、駐在所などの建物が整備されていますが、年月とともに老朽化が進み、災害・事故等で破損する場合もあります。来訪者などが常に安心して利用できるよう、定期的に確認し、必要に応じて修繕の手配をするなど、維持管理を行います。

歳入事務

交通課や生活安全課の窓口では、工事等のための道路の使用や猟銃の所持、古物商の営業などに関する許認可事務を行っており、申請者から規定の手数料を納めてもらいます（証紙による納付）。
会計係は、交通課や生活安全課で受理した申請手数料が適切か確認し、秋田県の歳入とする事務手続を行います。